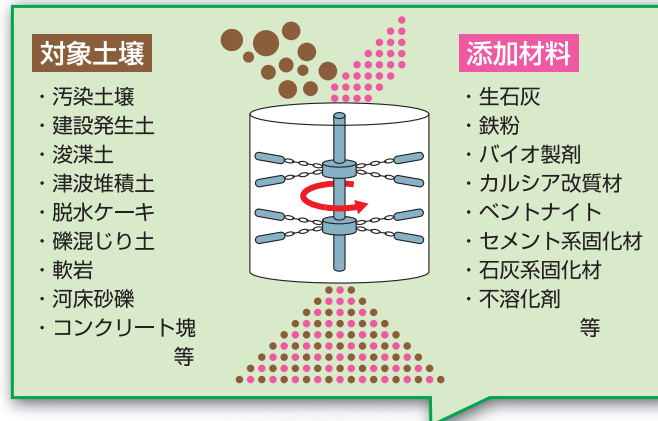


# 回転式破碎混合工法(ツイスター工法<sup>®</sup>)

回転式破碎混合装置により添加材料を混合攪拌することによって、対象土壌を浄化、不溶化処理または改質する工法です。

## 浄化プロセス



## 適用例

- ① 汚染土壌
  - ・揮発性有機化合物 (VOCs) (ホットソイル、鉄粉)
  - ・重金属 (不溶化剤)
  - ・油分 (バイオ製剤)
- ② 浚渫土・津波堆積土 (カルシア改質材)  
「カルスピン工法<sup>®</sup>」として (一財) 土木研究センターより建設技術審査証明 (第1305号) を取得しています。

## 特長

- ① 地盤材料の細粒化と添加材料の混合を同時に行い、経済性に優れています。
- ② 混合性に優れるため、添加材料の使用量を低減することが可能です。
- ③ 破碎効果を有するため、粘性土のハンドリング向上が可能です。
- ④ 装置がコンパクトで、輸送、設置、解体を容易に行うことができます。

ツイスター工法<sup>®</sup>は、日本国土開発㈱の登録商標です。  
カルスピン工法<sup>®</sup>は、日本製鉄㈱の登録商標です。



オンサイトプラント



車載型ツイスター